

今年度の
地区ロータリー財団の
活動内容

コロナ禍における財団活動の考え

- ▶ COVID-19によるパンデミックで、社会は多くの危機を体験したわけですが、ロータリーの奉仕活動に対しても大きな爪痕を残しました
- ▶ ロータリークラブの活動は、関連する人と共に良い事をするのですが、人との密集を避ける必要があるため、共同作業ができなくなりました

オンラインによる会議

- ▶ 今までの形態の会議の開催はできなくなったことから、オンラインによる会議の開催が主流になってきています 正副委員長会議
- ▶ 実際に対面しての会議と異なり、意思の疎通に多少の不便はあるものの、時間、場所にとらわれず比較的自由に会議を設定できる利点もある

災害救援補助金

- ▶前年度新設された災害救援補助金制度は、申請により認可された地区に補助金を支給するもので、その用途は、コロナ関連活動に限定されている。当地区は、2万5千ドルの支給を受けました。
- ▶現在、各クラブより申請された15件の案件をガバナーの出席で審査を終え、ロータリー財団の承認、補助金額の決定などの作業を行っております。
- ▶緊急性、コロナ関連、必要性、関係者の利害関係などが審査のポイントになります

グローバル補助金による活動

- ▶比較的高額な資金により行われるグローバル補助金活動は、長期で周到な準備を要する活動ですが、クラブにとって大きな経験となり、ロータリーの素晴らしさを実感できる活動でもあります。
- ▶コロナの影響で、作業の進展に支障をきたしています

地区補助金による活動

- ▶ クラブの近隣社会に対する奉仕活動で、この活動を行うことによってクラブ会員がロータリークラブの存在意義を実感できる活動である。
- ▶ 多くのクラブのご参加をお願い致します

奨学生に対する支援

- ▶現在地区補助金による奨学生が2人、グローバル補助金による奨学生が4人の合計6人に対して支援を行っていますが、すでに現地で研究を行っている4人以外の2名は、渡航できず、日本国内でオンラインによる授業を受けています。相手国への入国が可能になったときに、現地に行く予定です。

ポリオ、資金推進、資金管理

補助金を使った活動以外にも、地区ではポリオ絶滅活動の支援、寄付のお願い、寄付の必要性或いは重要性に関する啓蒙活動、寄付金の使途に関する説明等の活動を行っております。また、会員の皆様からの寄付による補助金を使った奉仕活動において、補助金が正しく行われているか、チェックを行っております。

クラブの奉仕活動

コロナ禍においても、クラブは、以下の様な活動は行うことができる。

- ▶活動の為のオンライン会議の開催
- ▶奉仕活動の準備
- ▶寄付活動（年次寄付、恒久基金、ポリオ絶滅の為の寄付等）
- ▶クラブ内の研修会：財団に関する理解を深める
- ▶情報収集